

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公開番号】特開2013-233947(P2013-233947A)

【公開日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-063

【出願番号】特願2012-106400(P2012-106400)

【国際特許分類】

B 6 5 B 43/46 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 43/46 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月11日(2015.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロータリー式包装機の包袋供給位置の周縁部に、包袋供給機構を配置し、包袋供給機構の包袋を、袋口側を上にして開口させて起立させる包袋開口起立機構を備え、起立した包袋の開口した袋口に一対のヘラを挿入して、包袋の袋底の封止縁に対して、袋口が交差又は平行する方向に選択してヘラを拡開しつつ、ロータリー式包装機側に接近する袋口拡開機構を備えた、ことを特徴とする平袋兼用テトラ包装袋用包装機。

【請求項2】

ロータリー式包装機の、円盤型ロータの中心から前記包装機の包袋供給位置を結ぶ半径方向の延長線上に、包袋供給機構を配置し、包袋供給機構の包袋を、袋口側を上にして開口させて起立させる包袋開口起立機構を備え、起立した包袋の開口した袋口に一対のヘラを挿入して、包袋の袋底の封止縁に対して、袋口が交差又は平行する方向に選択してヘラを拡開しつつ、ロータリー式包装機側に回転する袋口拡開機構を備えた、ことを特徴とする請求項1に記載の平袋兼用テトラ包装袋用包装機。

【請求項3】

袋口拡開機構のヘラで保持されている包袋の袋口を挟持してロータリー式包装機のクランプアーム側に包袋を受け渡す受渡し機構を備えたことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の平袋兼用テトラ包装袋用包装機。

【請求項4】

包袋供給機構内の包袋の封止縁に対して、袋口拡開機構の一対のヘラを結ぶ線が交差又は平行する方向に袋口拡開機構の姿勢を選択可能とする機構を備え、前記袋口拡開機構の姿勢を選択可能とする機構がロータリーアクチュエータ又はリンク機構である請求項1又は請求項2又は請求項3に記載の平袋兼用テトラ包装袋用包装機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

この包袋開口起立機構10は、図4に示すように、第1横回動軸32に設けられた回動ア

ーム33の先端にロッド34が水平方向に取付けられると共に、前記回動アーム33に添ってリフター35が取り付けられている。回動アーム33が回動し、下部位置では前記包袋捲り上げ吸盤11Aから包袋6を受け取り、上部位置では包袋6の袋口12を上にして起立させ、閉じたヘラ14A、14Bが挿入できる程度に袋口12を開口する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図13】

